

ホーム
ページ



http://uchida-ta
motsu.jimdo.com

南知多民報

発行：日本共産党
南知多町委員会
連絡先：町議会議員 内田保
南知多町内海内塩田77-3
(TEL・FAX: 0569-62-1816)



3月議会報告

3月議会の一般質問は6人の通告があり、6日に5人の質問がありました。日本共産党の内田保議員は、①大井小・師崎小の統廃合計画について②国民健康保険税のあり方について③ゴミ減量化に向けて④後期高齢者福祉医療の条件整備をの4点について、質問・要請をし、当局の姿勢をたどしました。また、「障害者が安心して生活できる『暮らしの場』の整備を求める意見書」の採択を求める請願が町民から出され、内田議員が紹介議員として趣旨説明を行いました。



(南知多町役場)

大井小・師崎小の統廃合を 住民の声により保留する気持ちはあるか

問 大井小と師崎小の統合の可否、条件整備については、4月から設置される「南知多町立小中学校規模適正化懇談会」において議論され、その結論を経て実施するというのでいいか。

答 教育部長

「南知多町立小中学校規模適正化懇談会」は、保護者代表、保育所代表、各区長、校長会代表と座長の学識経験者で構成し、ご意見や助言を頂くことを目的とするもので、議論し結論を出すものではない。

問 教育長は、今後、大井・師崎の区民の皆さんが統廃合を急がなくてもいいとの声強い時は、統廃合を保留する気持ちはあるか。

答 教育長

現アンケートでは複式学級でもよいという声は、保護者は8.7%、教職員は2.6%と低い結果だった。師崎保育所の年中組では6名の内男子1名という現実があり、これでは、正常な学校教育を進めることが難しいと考える。これらの方を踏まえ、保護者の声を大事にし、懇談会の意見も尊重して、取り組んでいきたい。



(大井小学校)



(師崎小学校)



ゴミ有料化の前に、枯草やプラスチックの 資源化などの施策を実施すべきではないか

問 突然、2021年度から可燃ゴミの有料化の計画が出されたが、住民の理解が得られたと思っているか。

答 厚生部長

ごみ減量化実施計画の策定に先立ち、H28年10月家庭系収集ごみ減量化基本計画を策定した。その際、ごみ減量化推進住民会議を4回開催し、必要な施策をまとめている。また、昨年12月から今年1月にパブリックコメントも募集した。その中には「有料化は困る」「値上げ前に他の施策を実施すべき」「CO2問題など地球環境問題でもあるため、しっかり進めるべき」などの意見があった。今後「ごみ減量化(有料化)説明会」で質問・意見をいただき、住民の理解を得たい。

問 ごみ減量に向けて、町民一人ひとりが意識化するために、海っ子バスで実施しているような定期的な住民との話し合いを計画すべきと考えるがどうか。

答 厚生部長

ごみ減量に向け、住民に意識していただくために、広報で周知に努めた。定期的な住民との話し合いは計画していないが、「ゴミ減量化(有料化)説明会」で意見交換をしていく。



(知多南部衛生組合)

人口1万3千人の鹿児島県の大崎町には焼却場がない！！

内田議員は、中日新聞で紹介されたごみリサイクル率日本一の大崎町に、ごみ収集の取り組みについて問い合わせました。27種類の徹底したごみの分別と生ゴミの有機堆肥化で82%のごみをリサイクルしています。未来の地球環境のために町民が協力しているのです。南知多町も大崎町に学ぶべきではないかと、内田議員は議会で町に迫りました。

3月議会は来年度の予算を決める大切な議会である。今回は新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、通告した議員たちで相談し、一般質問は中止にせず、一人当たりの時間を30分に短縮して行われた▼大井小・師崎小の統廃合については、何よりも子どもたち・保護者・住民の意見を大切に考えてほしいと質問した▼統廃合問題を考えるためのものである「南知多町立小中学校規模適正化懇談会」は、初めは「検討会」の名称だったが、いつの間にか意見を出すだけの「懇談会」になっていった。しかし、最終的に教育長は懇談会の内容も尊重すると答えた▼一方、教育長は、答弁の中で「現在の師崎保育所の子どもの数で女子5名男子1名の学年があり、これでは正常な学校教育を進めることは難しい」と述べた。一瞬目を疑った。教育長の言葉とは信じられなかったからだ▼私は豊丘小学校に勤務していた時に9人というクラスも経験したが、多人数の学級ではできない沢山の素晴らしい教育ができたと思っている。豊丘小という小さな学校から素晴らしい子どもたちが育っていった▼多人数の大きな学校でないとできないことももちろんあるだろうが、小さな学級、小さな学校の良さももう一度見つめ直していただきたいと思う。

たもつ記

